

ご挨拶

副理事長 平原 雅啓

「Do you like Beethoven?」

映画「レオン」で、強烈な悪役を演じたゲイリー・オールドマンのワンシーンでの台詞である。

彼の強烈で個性的な演技が言わずと知れたこの映画の名作ぶりを支え、個性派俳優としての確固たる地位を確立した。

私の唯一の趣味が映画鑑賞で、年間に100本近く劇場やDVDで鑑賞する。

その中で印象に残る映画というのは、ストーリーや主人公よりも脇役の個性派俳優達が光る演技をしたときにその映画の印象が強く残る。

強烈なキャラクターや狂気を含んだ演技、反対におだやかさ、やさしさなどを含んだ静かな演技、中途半端にバランスが整っていない尖った演技だからこそ観る人の心に深く刻み込まれるのだと思う。

青年会議所においても、我々メンバーは職種も年齢もバラバラ、いふなれば個性派俳優たちが集まっている団体である。

我々が住んでいるまちの現状や問題点を見極め、その課題に取り組み事業をおこなうのはもちろんだが、諸先輩方からの長い歴史と伝統がこの青年会議所にはあり、それを我々は理性と感性で受け止め事業展開をしていかなければならない。

しかし、そこに捕らわれすぎ自分を見失ってしまうよりも、まちの現状の課題や青年会議所の伝統を自分なりに受け止めつつも、そこから出てくる最も尖った個性的な事業展開で、まちに強烈な印象を与えるべきである。

そこには中途半端はいらない、若者らしく一直線に向かって本気でつき進み、英知と勇気と情熱で、超個性的な事業展開と、組織運営を行わなければ後に何も残らない。

Do, or do not. There is no “try”.

やるか やらないか だ。「試す」なんてない。

映画「スターウォーズ」の劇中に出てくる有名なセリフである。

2019年の事業展開がフォースと共にあらんことを。